

## 浜北区

### 浜北文化センター大ホール舞台音響等更新工事について

#### 課題

浜北区の文化活動の拠点である浜北文化センターの老朽化対策が課題となっている。

#### 事業の必要性

現在の浜北文化センターは昭和 56 年に建設されたもので、29 年が経過し、施設が老朽化しており、特にホールの音響設備や舞台装置、施設全体の空調設備は、このままの状態で使用すると、貸館業務に支障をきたすおそれがあるため、改修工事が必要となっている。

平成 20 年度に公共建築課が実施した劣化診断においても、ほぼすべての設備が耐用年数を超えており、大改修の時期であることを指摘されている。

#### 最近の浜北文化センターの改修工事

平成 20 年度 大ホール客席天井耐震補強工事を実施した。

工 期 平成 20 年 12 月 9 日～21 年 3 月 23 日

決算見込額 30,975 千円

#### 平成 22 年度の方針

設備の改修について、緊急性の高いものから優先順位を付けて実施したい。

22 年度以降において、大ホール舞台音響等の改修をはじめ順次実施していきたい。

総事業費見積額 2 億円

## 浜北区

### 浜北体育館の取壊しと地区体育館の新設について

#### 課題

浜北区及び周辺地域の市民に、安全で快適にスポーツができる環境を整備し、地域スポーツの振興を図るため、浜北体育館の取壊しと地区体育館の新設等が課題となっている。

#### 事業の必要性

現在の浜北体育館は昭和 43 年に建設されたもので、40 年が経過し、施設が老朽化しており、著しく耐震性も劣っている。このため、利用者の安全面を考慮すると取壊しが必要である。

しかし、取壊しに当たっては、近年の利用件数の増加等を考慮し、代替施設となる地区体育館の整備が必要である。

なお、現在、浜北区内の公民館には付設体育館がないため、浜北体育館がその役割を担い、地域住民のスポーツ活動の場となっている。

#### これまでの経緯

平成 14 年度	浜北総合体育館（浜北区平口）の供用開始にあたって、浜北体育館の取壊しを検討したが、地域住民の存続の要望が強く、当分の間、現状のまま継続することとなった。
平成 19 年度	浜松市体育館の解体の決定に当たって、市民感情を配慮し、浜北体育館は現状のまま利用を継続することとなった。
平成 20 年度	（利用を継続するため）防水工事（決算見込額 4,778 千円）を実施した。
平成 21 年度	指定管理者の公募時に、5 年間の期間を設定した。 そのため、取壊しは最短でも平成 26 年度となる。

#### 浜北体育館の利用実績

	H18		H19		H20	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
競技場（専用）	971	27,895	1,070	28,952	1,401	33,600
”（個人）		8,347		7,420		1,043

個人利用が 19 年から 20 年に減少しているのは、利用形態を見直したため。

#### 平成 22 年度の方針

施設の老朽化等を考慮し、平成 26 年度の浜北体育館の取壊しに至るまでのスケジュールを示し、地域住民、利用者団体等の理解を求めていくことが必要である。

また、取壊しに当たっては、代替施設となる地区体育館の整備を位置付け、事業を円滑に進めることが必要であり、22 年度以降において、取壊し後の跡地利用、地区体育館の施設内容、建設場所等の検討を進めたい。

解体工事 平成 25 年度 設計委託  
平成 26 年度 解体工事